

# 白衣で学ぶ看護の心

## 戸田中央看護専門学校 小中学生が体験入学

戸田中央医科グループ(中村隆俊会長)の戸田中央看護専門学校(戸田市本町、中村毅校長)で「わくわくドキドキ看護学校体験」が行われた。小中学生約30人が参加し、おむつ交換体験や聴診器の使い方などを学んだ。(岸鉄夫)



ダミー人形の赤ちゃんを使い、おむつ交換の仕方を教わる小学生たち—戸田市本町、戸田中央看護専門学校

参加者は看護師の白衣に真っ白のナースキャップ姿で参加。小6と中1のグループは、成人老年看護学実習室で包帯の巻き方や聴診器の使い方について挑戦した。

美谷本小6年生の御嶽夏姫さんが笹目東小6年の板金凜風さんの右腕に包帯を巻くと、指導役の朝倉由美さんは「きれいに巻けた。美しく巻いてあげると、患者さんも優しい気持ちになれる。傷の治りも早いよ」と合格点。御嶽さんは「将来は看護師になって誰かの助けになりたい」。板金さんも「小児科の看護師になりたい」と話した。

小4と小5のグループは小児・母性看護学実習室で、赤ちゃんのダミー人形を使い、おむつを換えたり、抱き方を教わった。看護学校では少数派の男子学生、2年生の千木

良望さん(20)が「赤ちゃんの胃袋はビー玉ぐらい。とても小さいことを忘れないでね」などと教えた。

参加者の戸田南小5年生の岡安愛羽さんは「知らないことがたくさんあった」。体験入学で唯一の男子、志木宗岡小3年生の山崎敦希君は「お母さんは看護師。ぼくは救急救命士になりたい」と話す。阿部信子先生は「子どもたちが看護師に興味を持ってくれてうれしい。高校生になったらぜひオープンキャンパスで見学に来てほしい」と話していた。

